



私たちは、忘れない。

東日本大震災記録写真展、ふたたび

平成29年

2月28日(火)

3月5日(日)

千葉県立美術館 / 第4展示室

入場無料

あの未曾有の大災害から6年が経とうとしている。東北三県を中心とした被災地では復興は進みつつあるものの、いまだに故郷に戻れない人も多い。また、私たちの住む千葉県でも各地で甚大な被害があり旭市では多くの方が犠牲となった。そして昨年4月には熊本地震…。あの日から6度目の3月11日を前に、いま一度大災害を振り返り、その記憶と教訓をつないでいこう。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

千葉県支部

千葉県立美術館

CHIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART



私たちは、忘れない。

—未来につなげるプロジェクト—

東日本大震災記録写真展、ふたたび

はじめに

日本赤十字社千葉県支部では、東日本大震災発生直後から、被災地での救護・救援活動や復興への支援に取り組んでまいりました。被災約1年後の平成24年2月には千葉県立美術館で、被災約2年後の平成25年2月から3月には千葉ポートタワーで、災害の記憶を風化させないため、そして千葉県民の皆様とともに被災地への支援に当たるため、「東日本大震災記録写真展」を開催いたしました。

いま被災後6年を迎えるに当たり、東日本大震災の被災者に対する継続した復興支援というメッセージに加え、過去に起こった大規模災害などの経験から紡ぎだされた「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります」という日本赤十字社の理念のもと、ふたたび「東日本大震災記録写真展」を開催いたします。

また、千葉県立美術館では、東日本大震災発生後まもなくの頃から美術館独自で被災地の方々への支援を模索してきましたが、「東日本大震災記録写真展」の共同開催をきっかけに、日本赤十字社の「キッズ・クロス・プロジェクト」の一環として、同千葉県支部と協働で被災地の子どもたちの「心のケア」に当たる「夢づくり隊」プロジェクトに取り組んでまいりました。そうした活動についても展示で紹介いたします。

主催

日本赤十字社千葉県支部・千葉県立美術館

会場

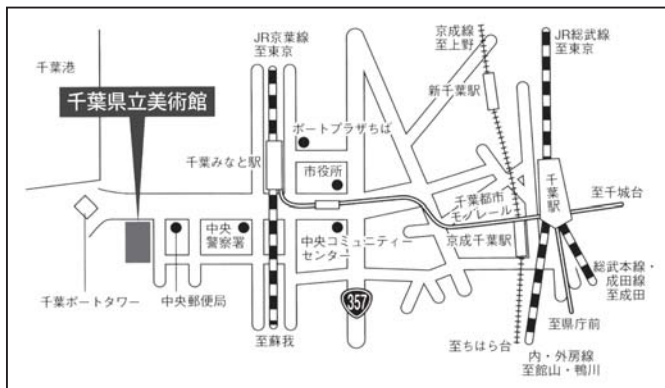
千葉県立美術館第4展示室

開催日程

平成29年2月28日(火)から3月5日(日)

開催内容

- 写真パネルの展示** 東日本大震災や熊本地震の被災状況や救護の様子、復興への支援と復興の様子などを写真パネルで紹介します。
- 救援物資の展示** 毛布、安眠セット、緊急セットなど救援物資の実物を展示します。
- 災害用移動炊飯器の展示** 被災地での炊き出しに使われる移動炊飯器を展示します。
- 夢づくり隊プログラムの展示** 夢づくり隊プロジェクトで使用した「ビルダーカード」の展示・体験コーナーを設置し、「発見！じぶん色」カンバッチ作品(サンプル)を展示します。
- 炊き出しの実演** 移動炊飯器を実際に使って炊き出しの実演と試食を行います(数量限定)。場所：第7展示室前芝生広場 日時：3月5日(日) 11:30～12:30
- 被災地へのメッセージコーナー** 東日本大震災被災地へのメッセージ(寄せ書き)コーナーを設置します。



千葉県立美術館 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1
お問い合わせ 千葉県立美術館普及課 ☎ 043 (242) 8311

交通案内

- 電車・モノレール
JR京葉線・千葉都市モノレール『千葉みなと』駅下車 約900m (徒歩約10分)
- バス
千葉駅西口《26番のりば》千葉みなとループバス タワーコース
千葉ポートタワー行「県立美術館入口(千葉みなとリハビリ病院)」下車(徒歩約3分)
千葉駅東口《11番のりば》【千41】【千42】
稲毛海岸駅・幸町団地・海浜病院行(ポートアリーナ経由)「市役所中央署入口」下車(徒歩約8分)
- お車でお越しの場合
東京方面から 東関東自動車道『湾岸習志野』ICから約20分
成田方面から 京葉道路『穴川』ICから約20分
東金方面から 千葉東金道路『千葉東』ICから約20分
館山方面から 京葉道路『松ヶ丘』ICから約20分
駐車場無料、78台(うち身障者用2台)利用可

